

# 千 厩

## ちょっぴり緊張した交通安全と防犯体験

春の全国交通安全運動(4月6日から15日まで)に先立ち4日、市と千厩自動車学校(佐藤義則管理者)や千厩警察署(千葉憲一郎署長)などが共催した交通安全と防犯教室「はじめてのおつかい」が、千厩自動車学校で開かれました。

新入学児童や幼稚園児、父母など約20組の家族が参加。参加した児童や園児たちは、一人で同校コース内に設けられた“お店”を巡り、“買い物”をしながら、交通ルールと登下校時の危険回避の方法を学びました。

コース内は、同校の運転指導員たちが実際に自動車を運転し、日常の交通道路の状況を演出。ゴールに向かう途中では、千厩署員が不審者にふんして言葉巧みに声を掛けるなど緊張感あふれる練習が行われました。参加者は大人も子どもも、あらためて安全の大切さに気を引き締めていました。



“買い物”の途中、真剣な表情で交通指導員から安全指導を受ける参加者



声援を受けて元気な滑りを見せる出場選手

## 楽しく滑り納めアイスアリーナ

屋内スケート施設「千厩アイスアリーナ」(鈴木守夫所長)は、3月26日でシーズンの営業を終了しました。最終日は、ファイナルイベントの「氷上運動会」と「無料開放」が行われ、約550人の愛好者でにぎわいました。

「氷上運動会」の参加者は、人を乗せた除雪用スノーダンプを人力で引っばる「人力車レース」や「長靴アイスホッケー」「ショートトラックタイムトライアル」などの種目を楽しみました。「ショートトラックタイムトライアル」には、小学生から大人まで20人が出場。今シーズンの練習成果を披露する選手たちの力強い滑走に、観客からは盛んに声援や拍手が送られていました。

競技終了後、愛好者たちは思い思いに滑り納めを楽しんでいました。

## 威勢よい太鼓で開幕せんまや夜市

「せんまや夜市」(千厩夜市実行委員会主催)は4月8日、千厩町の本町・新町商店街で本年の第1回目が行われました。歩行者天国となった同商店街に、大勢の買い物客が訪れました。

開幕は、千厩初登場の「高田町荒町組七夕太鼓」(陸前高田市)が勇壮な演奏を披露。時折、小雨が降る肌寒い中にもかかわらず、熱気あふれる若者たちの演奏に買い物客はしばし足を止め、太鼓と笛の音色を楽しんでいました。勢い余ってバチが折れるハプニングもあり、見物客の笑顔を誘っていました。

小梨第10区自治会「たまご湯」の『足湯』やトリノ五輪にちなんだ『カーリング』なども行われ、幕開けを盛り上げました。

せんまや夜市の開催は11月まで、毎月第2土曜日、午後7時から。8月は14日(月)に開催。



勇ましい演奏を披露する「高田町荒町組七夕太鼓」の皆さん

# 東 山

## 夜空に光る街路灯 明るさ一新長坂商店街

長坂商店街街路灯整備事業の落成記念祝賀会が4月7日、街の駅「ゆっくら」で開かれました。

祝賀会には商店関係者や住民約50人が出席。街路灯運営組合の鈴木孝志組合長が「新しくなったことは商店街の活性化だけでなく、防犯、観光の面でも役立つので期待している」とあいさつ。

来場者は、設置して38年が経ち、老朽化が著しかった街路灯80基の一新を喜び合い、地域活性化の期待を語り合いました。



左 街路灯完成を祝い商店街の拠点「ゆっくら」で祝賀会が行われました  
右 長坂商店街に整備された新しい街路灯



ティーボールを利用して打撃の練習

## 待ちに待った球春到来！ 遊球塾「少年野球教室」

4月9日、第22回遊球塾「少年野球教室」が、雨のため会場を球場から東山総合体育館に変更して開催されました。

当日は地域内の小学生約60人が参加。社会人の先輩の指導を受けながら、グループに分かれて、実際の場面を想定しての走塁の練習や、打撃などの基本動作を練習しました。

参加した小学生は、本格的な野球シーズンを迎え、間近に迫った大会に向けて熱心に指導者の話を聞きながら汗を流していました。

## みんなで楽しく英語を話そう♪ 小学生英会話教室

小学生英会話教室が3月22日から5日間、東山公民館で開催されました。佐藤コリーナさん(大東)を講師に迎え、小学生70人が参加。子どもたちは低学年と高学年に分かれて、英語の曲で身ぶり手ぶりを加えて踊ったり、英語を使って手品をしたりし、みんなで楽しく英語に触れました。

参加した和賀健太郎君(長坂小2年)は「英語で数字が少し言えるようになった。みんなで勉強して楽しかった」と感想を話してくれました。



歌を交えて楽しく学んだ英会話教室



紅白の幕を張った二艘(にそう)仕立ての舟上で行われた安全祈願祭

## お待ちしております 狛鼻溪安全祈願祭

今年1年の狛鼻溪舟下りの安全運行と観光の振興を願う狛鼻溪安全祈願祭は4月1日、舟上で行われました。

この祈願祭は、舟下りが通年運行となった平成6年から、「さおおろし」の意味も含めて行われるようになったもの。

安全を祈る神事後、船頭たちは「げいび追分」を披露。春の溪谷に高らかに響き渡った歌声で、観光シーズンの幕開けを宣言しました。